

神楽坂建築塾 第19期 講座スケジュール／テーマ「時を刻む場所へ」

2017年

5月 13日(土) 開塾式／「時を刻む場所へ」—— 川口通正 (川口通正建築研究所)
14日(日) FW 神楽坂を歩く2017

6月 10日(土) 「現在に宿る江戸城の東側の意味」—— 岡本哲志 (岡本哲志都市建築研究所主宰・都市形成史家)
11日(日) FW 浅草寺と寛永寺の境内を歩く

7月 8日(土) 「宮代町、まちづくりと活動」—— 富田玲子 (象設計集団) + 手島 互 (テシマ設計)
9日(日) FW 宮代町を歩く—— 北田英治 (写真家)

8月 5日(土) 「京橋 明治屋ビルの改修」—— 神山健一 (U.A建築研究室)
6日(日) 【公開講座】 「時間のなかの建築-前川國男を中心に」—— 長谷川堯 (武蔵野美術大学名誉教授・建築評論家)

9月 9日(土) 【静岡合宿】 「三島、源兵衛川から韮山を訪ねて」—— 松井正澄 (TeamZOO アトリエトド)
10日(日)

10月 14日(土) 「旧前川邸を中心に前川國男の建築を語る」—— 中田準一 (日本建築家協会名誉会員、災害総合支援機構長)
15日(日) FW 江戸東京たてもの園・旧前川邸を訪ねる

11月 11日(土) 「聴竹居、藤井厚二と和の住まい」—— 松隈 章 (竹中工務店・ギャラリーA4)
12日(日) 「職人の仕事」—— 田中隆義 (棟梁・海岸屋ふー)

2018年

1月 20日(土) 「多摩産材の木造駅舎 戸越銀座駅」—— 鈴木 靖 (アトリエユニゾン)
21日(日) FW 戸越銀座を歩く

2月 10日(土) 「登録文化財の改修と再生～富山・千葉・尾道」—— 渡邊義孝 (尾道市立大学非常勤講師)
11日(日) FW 谷中根津千駄木界隈を歩く—— 椎原晶子 (NPOたいとう歴史都市研究所)

3月 10日(土) 修了制作発表会
11日(日) 【公開講座】—— 前野 堯 (東京芸術大学名誉教授・文化財保存学)

FWはフィールドワーク。講座演題は一部、仮のタイトルが含まれます。「公開講座」は公開(一般は有料)とします。講師敬称略

募集要項

期間:2017年5月～2018年3月 月2回 全20講座(12月は休み)
 坐学は18時より。フィールドワークは毎回連絡。
 会場:アユミギャラリー高橋ビルB2(メトロ神楽坂駅 歩2分)
 または 早稲田奉仕園(メトロ早稲田駅 歩10分)
 対象:18歳以上 定員:50名

内容:

- 坐学は各月の講師による講義
- フィールドワークは首都圏を中心とするまち歩き(建築見学・スケッチ等も行う)
- 秋期合宿は静岡県三島韮山を予定。交通費・宿泊費等は各自負担
- 修了制作及び修了論文を2018年3月に各自発表
- 番外ツアー・オプション講座を随時実施(実測会や近代建築ツアー等を予定)

費用:入塾金(初年度のみ)10,000円
 +受講料68,000円(学生は受講料34,000円)

(受講料には正規カリキュラムで配付されるすべての資料代を含む)
 (フィールドワーク交通費は含みません)

入塾までの流れ

【1】以下の必要データおよび入塾志望動機(600字以内)を下記アドレスまで電子メールにて送信してください。ファクスでの申込も可能です。必要データ……①氏名とふりがな ②性別 ③生年月日 ④郵便番号+住所 ⑤電話番号 ⑥メールアドレス ⑦勤務先または学校名 ⑧認知媒体(この募集を何で知りましたか?)
 メールタイトルは「神楽坂建築塾応募」としてください。

締め切り:2017年4月20日(木)

【2】入塾の手続き:4月末までにメールまたは郵便にて、振込口座をお伝えしますのでご入金ください。納入された入塾金および学費その他の費用は返却されません。入金の確認をもって正式な入塾といたします。なお、定員超過の場合は書類選考を実施します。ご了承下さい。

神楽坂建築塾事務局:〒164-0003 中野区東中野2-25-6
 パソコンバウンド701サイト内
 電話/FAX:03-3371-2433 Mail:kagurazaka-kj@nifty.com

事務局:齊藤祐子、岸成行、佐奈芳勇、中村謙太郎、渡邊義孝 顧問:鈴木惇子
 運営メンバー:藤原成暁、青山恭之、時森幹郎、三浦正博、酒井哲